

事業概要

スタートアップ・エコシステム拠点都市の形成に向け、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会を中心とした産学官金のネットワークを強化し、国内外の先進都市やスタートアップ支援団体と連携した情報発信や支援者のレベルアップのための取り組みを行い、本市のスタートアップ支援環境のさらなる発展を目指す。

事業の詳細

● 協議会運営

スタートアップ・エコシステム拠点都市として、スタートアップ支援に積極的に取り組む産学官金の様々な団体・企業を集約した仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会における会員間での支援内容の情報交換を通じて、支援プログラムのすみ分けや連携を図り、支援体制の整備・強化を推進する。

● 国内外の支援機関との支援強化

国内のスタートアップ・エコシステム拠点都市や、海外の先進都市、スタートアップ支援団体等との連携を強化し、外部講師を招聘したセミナーやワークショップの開催により、本市ならびに協議会員の支援力の向上や、協議会が一体となった支援を展開する。

【目標】

仙台スタートアップ・エコシステム形成計画(2020年度～2024年度)に掲げる6つのKPI達成



事業概要

令和6年3月に市内中心部に開設した「仙台スタートアップスタジオ」を中心に、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会に参画する企業や金融機関、アクセラレーター等と連携し、仙台・東北のスタートアップに対するワンストップ支援環境を構築する。

事業の詳細

● スタートアップ相談体制の構築

創業前後を含めスタートアップを志す個人・事業者を対象として、相談から個別支援までをワンストップで担える支援窓口の体制を構築する。

● 支援イベントの開催

スタートアップのニーズに応じて、創業手続や資金調達、人材マッチング、EXIT(IPO、M&A)等のイベントやセミナーを開催し、スタートアップが事業運営を円滑に進めるための支援を行う。

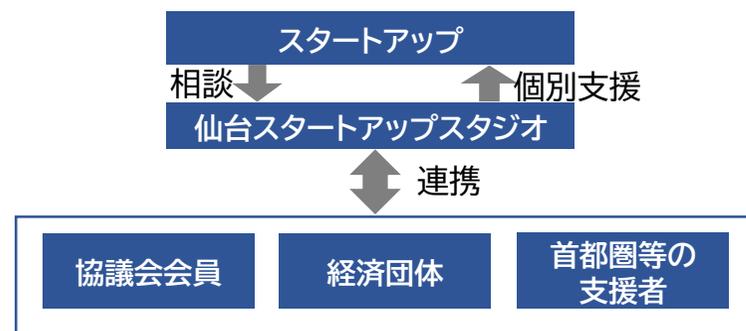
● 個別アドバイスの実施

地域の経済団体に所属する企業経営者や、首都圏等で活躍するスタートアップ経営者、ベンチャーキャピタル、エンジェル投資家等と、地域のスタートアップとをマッチングし、ビジネスプランや経営、販路拡大等に関するアドバイスを行う。

● スタートアップ支援スーパーバイザーの起用

スタートアップ支援に知見を有する外部人材をスタートアップ支援スーパーバイザーに起用、スタートアップ支援施策や支援を行ったスタートアップに関する情報発信、支援人材のネットワーキング等を行い、国内外の支援者との連携を強化し包括的なサポート体制の構築、本市のスタートアップ支援活動の認知度向上につなげる。

【スキーム】



【目標】

- スタートアップスタジオ利用者 延べ1,000名/年
- 支援イベント 延べ24回/年

事業概要

スタートアップの成長に不可欠であるが、仙台・東北域内では獲得機会に限られるCxO人材の確保に向け、仙台・東北にゆかりのある人材のコミュニティ形成の推進やスタートアップと首都圏人材とのマッチング機会を創出する。

事業の詳細

首都圏のスタートアップ支援拠点開設

- CIC Tokyo内に本市のスタートアップ支援拠点を引き続き開設し、入居企業や首都圏の支援者への情報発信や、仙台・東北にゆかりのある人材のコミュニティ形成、人的ネットワークの構築、本市への誘致を促進する。

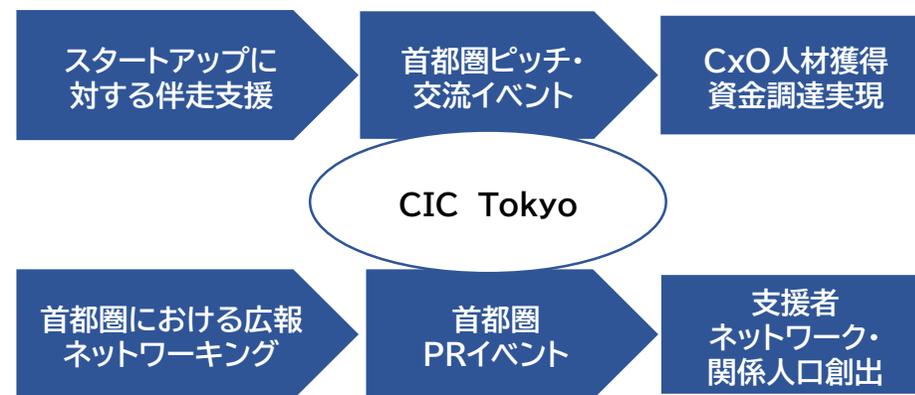
首都圏CxO人材獲得伴走プログラム実施

- CxO人材の獲得を求めるスタートアップ及び起業予定者を5者程度選抜する。選抜者に対し、8か月程度、事業進捗面談にて事業の成功確度を高めつつ、CxO人材とのマッチング機会を提供する。

首都圏でのピッチ及び交流イベントの開催

- 本市のスタートアップ支援施策の広報や、仙台・東北で活動する起業家・スタートアップの情報発信及びCxO人材とのマッチングを目的とした交流イベントを首都圏で実施する。

【スキーム】



【目標】

- 首都圏イベントの参加者数 300名
- CxO候補人材獲得数 5件

事業概要

ミドルステージを中心とした東北大学等の研究開発型スタートアップに対して、個別のニーズに合わせた成長支援を行うことで東北地域のロールモデルの輩出を目指す。

事業の詳細

● 成長性の高いスタートアップの発掘

スタートアップ支援に積極的に取り組んでいる自治体・大学等と連携し、J-Startup企業等の成長性の高い企業を発掘し、本プログラムの説明を行う。

● ハンズオン支援の実施

東北地域のロールモデルとなりうるスタートアップに対して、それぞれの事業拡大にあたっての課題・ニーズを毎月ヒアリングし、課題・ニーズに応じて柔軟なハンズオン支援を実施する。

● 成果発表会(Demo Day)の開催

本プログラム採択者の事業を投資家や大企業、メディア等に対して発表する成果発表会(Demo Day)を、起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」と連携して実施する。また、首都圏等の支援者とのマッチング機会を創出するため、東京の支援機関と連携した成果発表会を開催する。

【スキーム】



【目標】

- 採択企業の資金調達額 累計5億円

スタートアップ創出集中支援プログラム

基金

スタートアップ支援課
連絡先:022-214-8768
令和6年度当初予算額:29,480千円

事業概要

仙台・東北でのスタートアップ立ち上げを目指す学生や若者(概ね16歳から39歳)、創業間もないスタートアップ(概ね3年以内)に対して、ベンチャーキャピタルやエンジェル投資家、スタートアップ経営者等による6ヶ月程度の伴走支援プログラム等を実施することで、仙台・東北から世界へ挑戦する事業の立ち上げを加速させる。

事業の詳細

● スタートアップ立ち上げを目指す人材の募集

仙台グローバルスタートアップ・キャンパス卒業生やGAPファンド採択者等の起業意欲の高い人材や創業間もないスタートアップを募集し、ベンチャーキャピタルやエンジェル投資家、スタートアップ経営者等によるピッチコンテスト等の審査を通じて、5者程度を選抜する。

● 伴走支援プログラムの実施

選抜者に対して、事業化及び事業成長に向けた課題を分析し、6か月程度、ベンチャーキャピタルやエンジェル投資家、スタートアップ経営者等による個別指導や著名なスタートアップ経営者による講演会や交流イベント、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体とのマッチング支援等を実施する。

● 成果発表会の開催

選抜チームの事業アイデアや今後の目標等について発表する成果発表会を実施し、本プログラムの成果の共有や、起業や事業展開に向けた更なる支援の呼び込み等を行う。

【スキーム】



【目標】

- プログラム修了後の事業化件数 2件
- プログラム修了後3年以内の資金調達額 累計2,000万円

事業概要

東北大学の研究シーズ活用企業の創出・成長を支援し、雇用拡大・地域経済活性化を図ることを目的に、東北大学連携型起業家育成施設(T-Biz)の運営支援と、入居企業に対する賃料補助を行う。

事業の詳細

運営スタッフ人件費負担

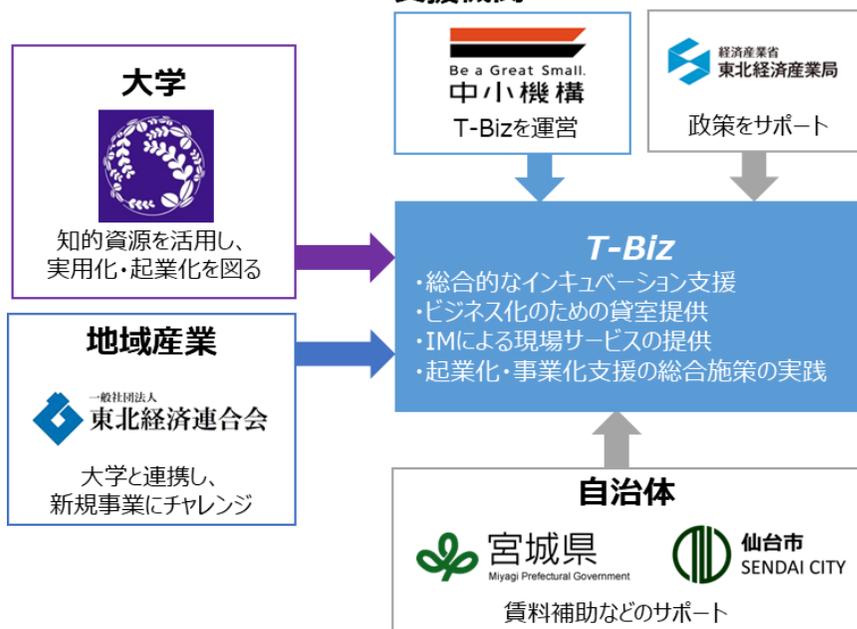
- 施設を運営する中小企業基盤整備機構に対して、運営スタッフ1名分の人件費相当を支援する。

支援イベントの開催

- 入居企業に対して、最大5年間の賃料補助を行う。

入居後1年未満の企業	単価 500円/ (㎡・月)
入居後1年以上3年未満の企業	単価 400円/ (㎡・月)
入居後3年以上5年未満の企業	単価 300円/ (㎡・月)

【スキーム】



【目標】

- T-Biz入居企業への賃料補助件数:10社

事業概要

仙台・東北の社会起業家および起業家予備軍に対して、先輩経営者、投資家、起業支援に関する専門家による支援(メンタリング)やワークショップなど、半年間の個別集中支援プログラムを行うことで、ソーシャル・インパクトの拡大を加速させ、課題先進地である東北の社会起業に関する機運を醸成し、社会起業家を連続的に輩出するエコシステム(生態系)を構築する。

事業の詳細

- ソーシャル・インパクトの拡大を求める社会起業家の発掘
インパクト投資等により、ソーシャル・インパクトの拡大を求める仙台・東北の社会起業家を発掘し、審査を通じて4者程度を採択する。
- 社会課題解決のアイデアを持った起業家予備軍の発掘
何らかの社会課題を、ビジネスを通じて解決するアイデアを持った仙台・東北の起業家予備軍を発掘し、審査を通じて4者程度を採択する。
- アクセラレーションプログラムの実施
採択者に対して、ワークショップ等での知識の提供のほか、先輩経営者、投資家、起業支援に関する専門家による支援など、選抜者のニーズに応じた半年間程度の個別集中支援を行う。
- 成果発表会(Demo Day)の開催
本プログラム採択者の事業を社会起業家や投資家やメディア等に対して発表する成果発表会(Demo Day)を、起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」と連携して実施する。

【スキーム】



【目標】

- 社会課題解決に資する社会起業家の年間輩出数 8者

事業概要

社会課題に関心の高い仙台・東北の学生や若者(概ね16歳から39歳)に対して、東北の社会課題解決に取り組むスタートアップへの滞在型研修を含む6か月程度の支援プログラムを実施することで、社会課題解決につながるビジネスプランの構築や実践に向けた支援を行い、社会的・経済的インパクトを創出する若年層の定着を図る。

事業の詳細

● 集合型研修の実施

ビジネス通じて社会課題を解決する手法等について学ぶ集合型研修を実施し、参加者の理解を深めるとともに、滞在型研修に向けたチームアップを行う。

● 潜在型研修の実施

東北のスタートアップへ滞在型研修等を実施し、社会課題解決を実践する起業家のビジョンやアクションに触れながら、社会課題の探求に取り組むとともに、ビジネスアイデアの構築を行う。

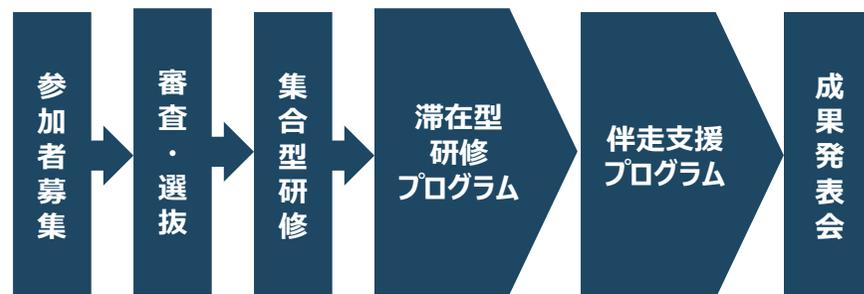
● ビジネスプラン構築支援の実施

起業実践者等の伴走メンターによるサポートを受けながら、ビジネスアイデアの事業化、ビジネスプラン構築を行う。

● 成果発表会の開催

ビジネスプランや今後の目標等について発表する成果発表会を開催し、本プログラムの成果の共有や、実現に向けた支援の呼び込み等を行う。

【スキーム】



【目標】

- プログラム修了者数 15名
- プログラム修了後3年以内の事業化件数 3件

起業啓発・促進イベント開催

基金

スタートアップ支援課
連絡先:022-214-8278
令和6年度当初予算額:6,900千円

事業概要

起業を啓発・促進し、本市へのUIJターン起業や東北の起業家に対する支援・投資を呼び込むためのイベント「SENDAI for Startups!」を開催し、東北で活躍する起業家のPRと支援者等とのマッチングを図り、スタートアップ・エコシステムの環境整備を加速させる。

事業の詳細

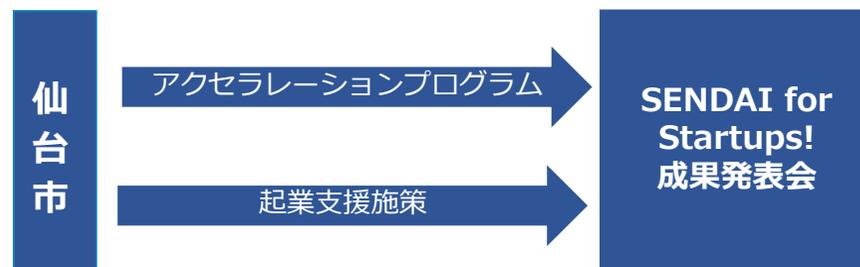
SENDAI for Startups!の運営

- 仙台・東北で起業支援に積極的に取り組んでいる支援者等と連携し、全国で活躍する著名な起業家による基調講演や、東北で活躍する起業家のプレゼンテーションを行い、起業を啓発・促進し、参加者同士のマッチングを行うイベント「SENDAI for Startups!」を開催する。開催にあたっては、本市が実施する様々な起業支援施策の成果発表の場と位置付け、経済局内外の各部署と調整・連携の上、相乗効果を意識した内容とする。



過去開催したSENDAI for Startups!の様子

【スキーム】



【目標】

- 登壇した起業家と支援者等のマッチング件数 100件以上

事業概要

起業家数の増加のため、小中高生向けに「起業体験ワークショップ」や「デザイン思考ワークショップ」を実施して、早期からの起業家教育、アントレプレナーシップ醸成により次世代の起業家育成を図る。

事業の詳細

小学生・中学生向けプログラムの実施

ワークショップ会場を仮想の環境として、商品開発・資金調達・広報・販売までを以下の項目で1日で実施する。

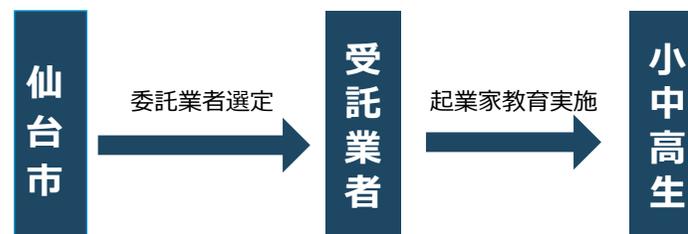
- 座学にて、経営・起業についてレクチャー
- 事務局で設定した課題について、商品の企画を検討融資・投資などの資金調達を行う。
- 商品の製作商品マーケティング
- 販売・清算

高校生向けプログラムの実施

より実践に即したワークショップを複数日で実施する。ビジネスプランを作成し、成果発表のプレゼンテーションを行う。

- 起業家からのレクチャー
- 自身の振り返り、棚卸を行い、自身の興味分野の特定、解決したい課題・取り組みたい事象の特定を行う。
- 関心のあるテーマに基づいて、チームアップを行う。
- フィールドワーク等の実施
- 起業家や関係者に向けたプレゼンテーションの実施

【スキーム】



【目標】

- 参加人数 70名

事業概要

仙台・東北の若手人材を中心とした起業家潜在層に対して、少人数による学習グループ(コーホート)を基盤とした最先端の起業家教育プログラムやワークショップ等を通して、起業意欲の向上や、東北内の起業家層の発掘・ネットワーク強化を図る。

事業の詳細

● 支援対象の発掘

スタートアップ支援に積極的に取り組んでいる自治体・支援者・大学等と連携し、グローバル志向の高い仙台・東北の若手人材を中心とした潜在起業層を、事前説明会や広報等を通じて発掘する。

● 起業家教育プログラムの実施

・ ステージ1

選抜された100人程度を対象に、オンライン中心で、「起業家マインド」、「ビジネス課題設定・課題解決策立案」等を体得できるように海外大学の最先端のアントレプレナーシップ教育プログラムを提供する。

・ ステージ2

ステージ1の受講生の中から希望者(20人程度を選抜)に対して、自らの事業アイデアを創出するための海外大学等の起業家養成プログラムやビジネスプラン構築に向けたワークショップ等を提供する。

※上記プログラムは全て少人数による学習グループ(コーホート)にて実施する。

● 海外派遣プログラムの実施

ステージ2の修了者をスタートアップ先進地域であるシリコンバレーやボストン等へ派遣し、海外大学や現地の支援機関(アクセラレーター等)が実施するスタートアップ支援プログラムへの参加機会の提供や、現地の投資家やベンチャーキャピタル、スタートアップ経営者等に対してビジネスプランを発表するピッチイベント等への出場機会を提供する。

【スキーム】



【目標】

- ビジネスモデルの構築支援件数 20件
- プログラム修了後3年以内の事業化件数 5件

事業概要

東北大学の留学生等を対象に、国内で活躍する外国人起業家による起業の実体験の講演会等を実施し、在学中または卒業後の起業活動により引き続き国内に在留する外国人起業家の輩出につなげる。

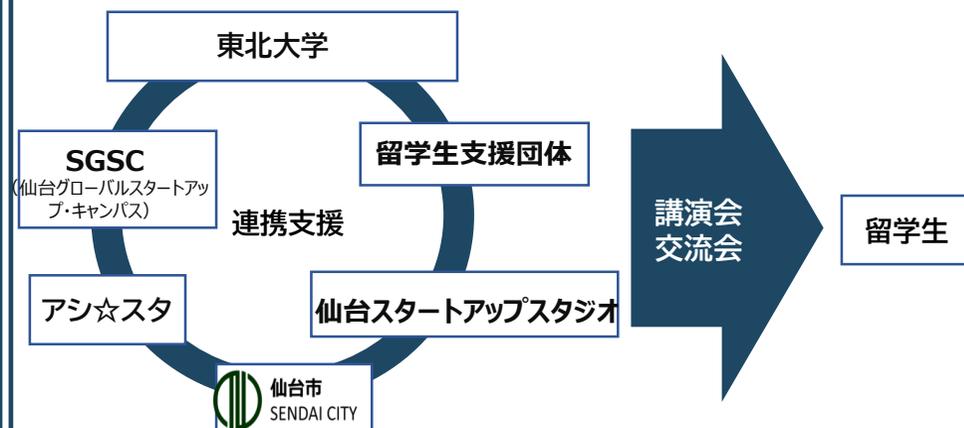
事業の詳細

- 国内で活躍する外国人起業家を招き、起業の実体験や今後のビジョン等を伝える講演会・交流会を開催する。
- 起業意欲の高い参加者については、仙台スタートアップスタジオの外国人創業・起業活動促進事業(スタートアップビザ)の相談窓口等につなぎ、具体的な在留資格の切り替え、起業手続き等の個別支援を行う。
- 広報については、東北大学工学部、グローバルラーニングセンター、スタートアップ事業化センター、東北大学留学生の支援団体等と連携する。

【目標】

- プログラム参加留学生 30名

【スキーム】



事業概要

仙台市起業支援センターアシ☆スタにおいて、仙台地域の起業希望者や起業後間もない方を対象とした各種起業支援を実施し、仙台地域の起業を促進する。

事業の詳細

● 窓口相談

相談員やビジネス開発ディレクター等の専門家が起業に関する課題に助言を行う。起業後の課題解決に向けたフォローアップにも対応する。

● 起業家セミナー

起業希望者や起業後間もない方を対象に、起業に必要な知識、ノウハウを学ぶ各種セミナー・ワークショップを開催する。

● 起業家フォローアップ

起業家の事業継続を図るため、フォローアップレター送付と開業者インタビューを実施しつつ、ビジネススクール等の継続支援を促す。

● アシ☆スタ交流サロン等の運営

起業希望者を対象に起業経験者や起業希望者同士の交流機会を提供する。

● 開業ワンストップセンター

法人設立時に必要な各種申請の窓口を集約し、関連する相談業務や各種手続きの支援を総合的に実施することにより、法人設立時の負担を軽減する。

● アシ☆スタ・ビジネススクール

各分野の専門家を活用した集中セミナーとアウトプット支援を実施する。

【目標】

- 年間起業件数 100件

事業概要

付加価値の高いビジネスや新たな取り組みが持続的に生まれる環境の構築による、地域企業の成長促進、地域産業の高度化・競争力強化を目指し、AI等の先端IT技術やデータの利活用による新事業創出、地域産業とのX-TECHによる事業共創、事業創出を牽引することができる高度IT人材の育成支援等を一体的に実施する。

事業の詳細

AI・データ利活用関連ビジネス創出プログラム

地域企業における付加価値の高い新たなビジネスの創出を支援するため、幅広い産業分野においてAI・データを利活用した新たな製品・サービスの開発や既存事業の高度化・高収益化を目指す事業開発プログラムを実施する。

【目標】

イベント等ビジネス創出関連事業実施回数:2回



データ利活用ビジネス創出ワークショップの様子



X-TECHイノベーションアワードの様子

AI・データ利活用人材育成事業

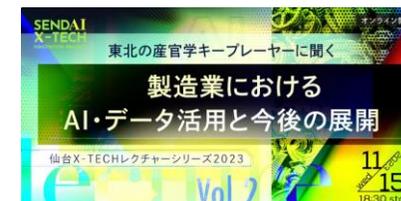
地域企業において、ビジネス創出をリードすることができる人材を育成するため、AI・データ利活用等に関する基礎的／専門的な知識や技術を学ぶ教育プログラムや普及啓発セミナー等を実施する。

【目標】

セミナー等教育プログラム実施回数:2回



AIエンジニア育成ワークショップの様子



オンラインセミナーWEBサイト

先端デジタル技術ユースケース創出支援事業

基金

産業振興課

連絡先:022-214-8263

令和6年度当初予算額:9,000千円

事業概要

AI・ブロックチェーン・量子コンピューティング等の先端テクノロジーを活用した製品・サービスのユースケースを創出するとともに、そのユースケースの普及啓発を行うことで、本地域で新しい先端テクノロジーを活用した新たなビジネスが継続的に創出される環境を構築し、地域経済の成長に寄与することを目的とする。

事業の詳細

先端デジタル技術ユースケース創出委託

- 先端テクノロジーを活用した製品・サービスのプロジェクトの実施委託・実施支援を行う
 - 想定ユーザーの募集・調整、実証フィールドの選定・調整
 - 想定ユーザーとの協働による開発及び実証実験等の実施
 - 実証実験等の結果の取りまとめ、ブラッシュアップ方針の策定
- ユースケース報告書の作成

【スケジュール(予定)】

令和6年5月上旬 :公募開始

令和6年6月下旬 :審査委員会開催 → 受託事業者決定

令和7年2月末まで:プロジェクト実施

令和7年3月下旬 :プロジェクト完了報告

【委託上限額】

300万円

【目標】

採択件数:3件

対象分野:AI、ブロックチェーン、量子コンピューティング

【スキーム】



中小企業新製品等開発支援補助金

産業振興課

連絡先:022-214-8263

令和6年度当初予算額:12,500千円

基金

事業概要

新事業創出及び高付加価値化を目指し、克服すべき技術的課題の解決を促進するため、市内の中小企業者が行う新製品・サービスの開発に対し補助金を交付する。

事業の詳細

【対象製品等】

市内に事業所若しくは工場を有する中小企業者が取り組む、IT関連の新たな製品・サービスの開発・実証実験及び販路開拓であって、技術的課題に対する検証・フィードバック等の行為を行うもの。

【支援内容】

補助対象経費の総額の2/3以内、1件あたり200万円
※産学連携の取り組みであるものは、1件あたり上限300万円

【スケジュール】

令和6年5月下旬:公募開始
令和6年6月下旬:公募締切
令和6年8月上旬:審査会開催 → 採択事業者決定
令和7年3月下旬:実績報告

【令和5年度支援例】

事業計画名
支援企業A: 先進的AI・自動化技術を活用した魚種選別システムの安定稼働と高処理能力の両立
支援企業B: 老舗企業が取り組む公園のDX 公園の笑顔を守る Park BI
支援企業C: 竜巻状気流発生装置の製品化に向けた特性改善と検証
支援企業D: 建築構造物(ビル等)の外壁検査システムの開発～打検センサーの利用～
支援企業E: Web3を活用した脱炭素アプリケーション向けNFT機能の開発

【目標】

採択件数:4～6件

事業概要

企業の開発ニーズ発掘から事業化まで一貫したコーディネートにより、東北大学の技術シーズを活用した産学連携プロジェクトを推進し、地域IT企業の成長促進・新ビジネスの創出・地域課題の解決を目指すことを目的に、東北大学情報知能システム(IIS)研究センター運営支援を行う。

事業の詳細

● 支援内容

- 地域産業・地域企業が抱える課題やニーズと、電気・情報系約80の研究室が持つ先端技術シーズのマッチングを行う。
- 企業出身のスタッフが、企業目線でのニーズオリエンテッドの産学連携をサポートし、地域IT企業による競争的資金獲得・研究開発・事業化を一貫して支援する。

● 支援事例

● 水産業×ITの取組

魚市場の現場における人手不足解消と生産性向上を目的として、AIを活用した魚種選別システムの開発を支援。



● 開発支援の取組

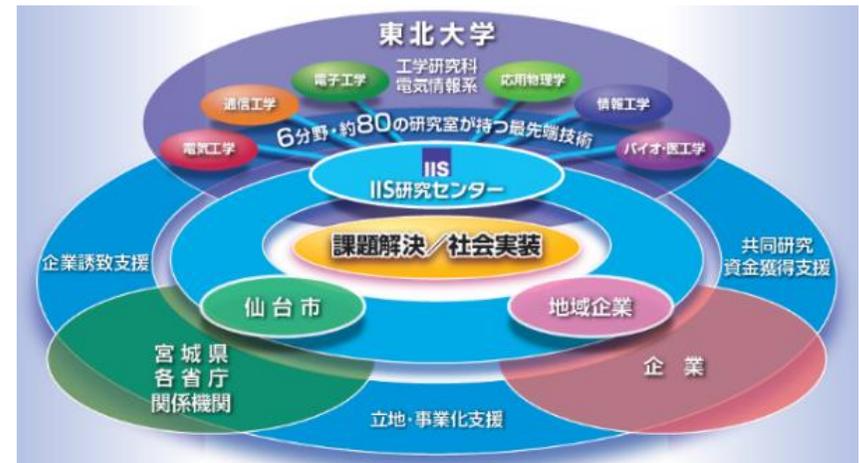
オンライン診療サービスの社会実装に向けた電子聴診器の開発を支援。



【目標】

来訪・訪問件数(オンライン含む):800件

【スキーム】



事業概要

仙台・東北の教育機関の訪問やオンライン上での面談、市内IT企業が集う業界研究会や合同企業説明会等の学生向けイベントの実施により、市内IT企業の認知度を高め、人材確保を支援する。

事業の詳細

仙台・東北地方の教育機関訪問

仙台・東北の教育機関の就職支援担当教員・職員との面談を通じて、就職や進路動向の把握、教育機関とのネットワーク強化、地域IT企業や本市就職支援施策に関する認知度向上を図る。

大学生、専門学校生等向けIT業界普及啓発イベント

仙台を中心とした全国の学生・若者を対象に、トークセッションやワークショップ等を通じて、市内IT産業の魅力やIT企業で働くことの魅力をPRするイベントを開催し、市内IT産業や企業の普及啓発を行うとともに、学生・若者等の地元定着・IT業界への就職促進を図る。

学生向けIT業界合同企業説明会

仙台を中心とした全国の大学や専門学校等を卒業する予定の学生等を対象に、市内IT企業が一堂に会する合同企業説明会をオンラインも用いて開催し、市内IT企業の人材確保を支援するとともに、学生の就職支援、地元定着、UIJターンの促進を図る。

【目標】

イベント開催回数:2回程度

仙台・東北地方の教育機関訪問、
オンライン上での面談

全学生向けIT業界普及啓発イベント

就活生向けIT業界合同企業説明会

市内IT企業の東北全域
からの人材確保
(学生の地元定着)



IT業界普及啓発イベントの様子



IT業界合同企業説明会の様子

事業概要

市内のIT企業の認知度向上や販路拡大を目的として、Webサイト「SENDAI INC.」による情報発信、先端IT技術関連の展示会出展、フィンランド共和国オウル市との産業協定に基づいたビジネスマッチング支援等の各種プロモーション支援を行う。

事業の詳細

IT産業振興に係る情報発信事業

Webサイト「SENDAI INC.」において、地域で活動するITコミュニティやそれに関わる人や地域で活躍するIT企業に関連する様々な情報を掲載し、本市がIT産業に関わる人々にとって魅力的な都市であることを発信する。

【目標】

記事掲載およびSNS発信件数:月4件以上
情報発信サイトの機能拡充

先端IT産業関連展示会出展支援

地域の中小企業者の販路拡大を図るとともに、本市への新たな開発投資・企業・人材の誘致を目的に、先端IT技術関連の展示会への出展を支援する。

【目標】

先端IT技術関連展示会への出展支援件数:1件

オウル連携型IT海外展開支援

地域の中小企業者の成長及び外国企業の誘致につなげるため、フィンランド共和国オウル市との産業振興協定に基づき、本市IT企業とフィンランド企業とのビジネスマッチングを支援する。

【目標】

連携イベント等出展支援件数:1件



先端IT産業関連展示会
出展時の様子



フィンランド企業への本市
の取り組み紹介の様子

事業概要

仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指し、「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を通じて産学官金連携による防災関連産業のオープンイノベーションを推進するとともに、気候変動対策・脱炭素等の視点を取り入れながら、民間企業等が行う新たな製品・サービスの実証や社会実装への支援を行う。

事業の詳細

【事業内容】

- 「防災」・「テクノロジー」・「ビジネス」分野の関係者の活動母体となる「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」の運営。
- 産学官金連携による防災関連産業のオープンイノベーションプログラムの実施。
- 仙台防災枠組の社会実装に向け、防災・減災上の課題解決と新たな製品・サービスの事業化を促進するため、仙台市をフィールドとした実証実験等の実施支援。
- 気候変動対策・脱炭素等の視点も加えた新たな製品・サービスの開発支援。



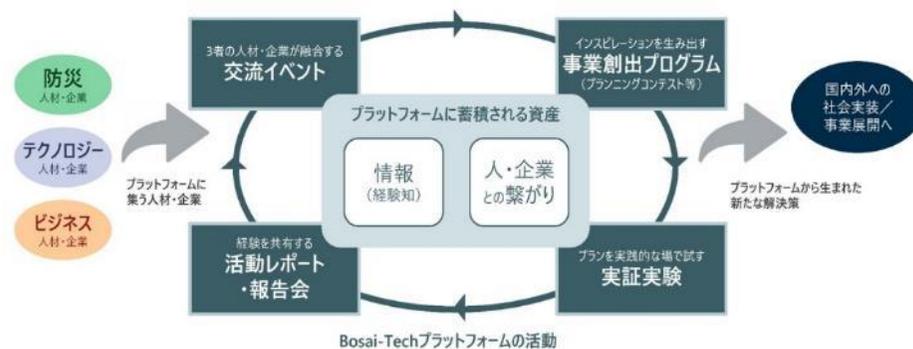
プラットフォームウェブサイト



【目標】

- プラットフォームへの参画団体数:220団体以上
- 国内外企業向け事業開発プログラム開催件数:2件
- BOSAI-TECH関連イベント:2回

【スキーム】



事業概要

IT活用による地域の中小企業者のデジタル化を推進し、新たな市場の開拓や生産性向上などによる経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー等を行う。また、国家戦略特区に認定されている「仙台テレワークサポートデスク」を通じて、デジタル活用やテレワーク導入を支援する。

事業の詳細

IT導入・利活用に関する無料相談窓口の運営

中小企業者の経営の効率化や販売促進の強化に向けたITやWebマーケティング手法等の活用に関して、IT導入・利活用に関する無料相談窓口において専門家による情報提供、アドバイスを行う。

啓発セミナー

身近な事例やツールの紹介を行うセミナーを開催し、ITを活用した業務のデジタル化を啓発する。

IT担当者研修

IT担当者として必要な知識・技術の習得を目指した研修を行うことで、社内のIT戦略を作成するなどIT化を率先して進められる人材を育成する。

伴走型支援

無料相談窓口や啓発セミナー、IT担当者研修などを通じてIT化に意欲を持った中小企業者に対して、各社に応じた業務課題の抽出・整理、経営戦略の構築、戦略に基づいたITツールの導入・運用等について、専門家が継続してサポートを行なう。

【目標】

IT活用推進事業における利用者数の合計:400名

利用者満足度:80%以上



啓発セミナー「地元で愛される企業経営者が語る、経営基盤を支えるIT化」



啓発セミナー「webマーケティング基礎講座」

事業概要

ヘルスケア領域や介護福祉領域の地域課題に対し、課題解決に資する製品等の開発・事業化を支援し、地域の産業創出と市民の健康福祉の向上に寄与する。

事業の詳細

課題提案プログラム

ウェルビーイング分野における諸課題を解決し、仙台・宮城のさらなる産業発展に資する製品やサービスを開発する新事業について公募・委託し、市場化に向けた開発を支援する。また、海外進出意欲の拡大を後押しするため、新たに海外展開枠を設け、海外展開へのチャレンジを支援する。

行政課題プログラム

健康福祉局等から本市が解決したい課題をテクノロジー等で解決するビジネスアイデアを募集し、採択案件については製品開発から実証段階までを委託により支援する。開発から実証に当たっては、産業振興事業団のネットワークや担当課と連携しながら調査・実証先等の調整を行う。

継続支援プログラム

前年度(令和5年度)に「ウェルビーイングビジネス開発委託事業」または「仙台ヘルステックコンソーシアム」に採択された事業を対象に、ウェルビーイング分野におけるソリューションビジネスの社会実装または市場化に向けた更なる開発や実証を支援する。

【スキーム】



【目標】

- 「課題提案プログラム」及び「行政課題プログラム」の採択事案について、令和8年度末までに市場化を目指す
- 「継続支援プログラム」の採択事案について、令和7年度末までに市場化を目指す

事業概要

市内の中小企業者が、自社製品・技術等の海外への販路開拓を図るために行う事業に対して助成金を交付し、本市経済の国際化・活性化を図る。

事業の詳細

● 対象者

- 中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号のいずれかに該当する者であって、仙台市内に主たる事業所又は事務所を置くもの。
- 市税の滞納がないこと

等

● 対象事業

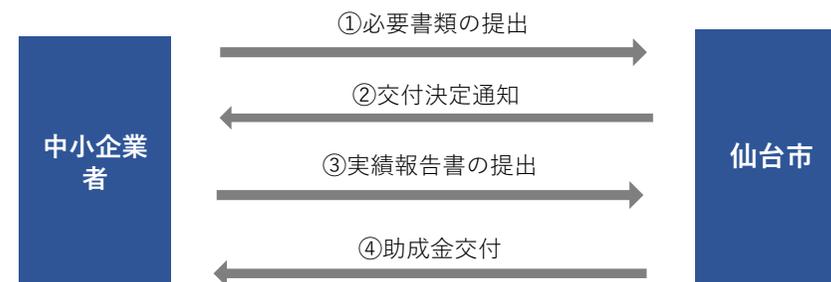
- 海外販路開拓事前準備およびFS調査に係る事業
- 海外への電子商取引等に係る事業
- 国際見本市出展に係る事業
- 輸出に係る事業

● 対象額

- 対象経費の1/2 又は 2/3 以内
- 上限額 10万円~100万円

【目標】

助成金交付件数: 25件



助成金交付の流れ

事業概要

タイ・バンコク都に「仙台一タイ経済交流サポートデスク」を設置し、タイへの製品・技術等の販路開拓を希望する市内の中小企業者等の個別の相談に乗りながら、それぞれのニーズに合わせた支援を行うことで、タイへの販路開拓を図る。

事業の詳細

【対象者】

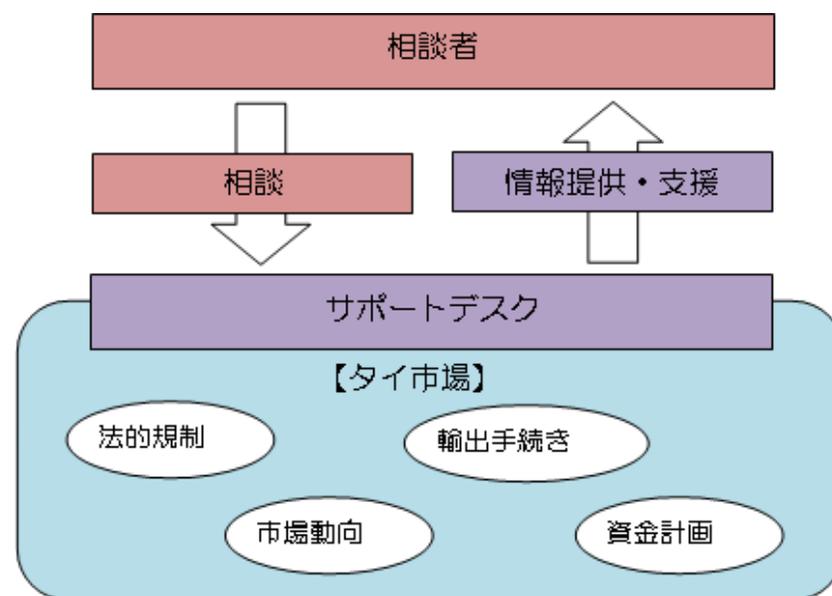
- タイでの販路開拓を検討している仙台、宮城、東北の中小企業者等

【主な支援内容】

- タイへの輸出、進出に関する相談
- 現地企業訪問等のサポート
- 現地市場、販路構築に関する情報提供

【目標】

個別相談対応件数： 50件



仙台一タイ経済交流サポートデスク体制

福祉機器等を対象にしたタイへの販路開拓支援

基金

産業振興課

(連絡先:022-214-1005)

令和6年度当初予算額:4,434千円

事業概要

今後高齢化が進むタイおよびASEAN諸国への販路開拓を目的に、タイで開催される医療・福祉機器の国際展示会へ仙台市ブースを出展し商談機会の提供を図るほか、関係機関と協力し、現地の介護施設等への販路開拓や現地進出の支援を行うもの。

事業の詳細

【対象者】

- ・ 中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号のいずれかに該当する者であって、仙台市内に主たる事業所又は事務所を置くもの
- ・ 本市が定める規約や出展手続、依頼する内容に協力できること
- ・ 市税の滞納がないこと

等

【出展事業者】

- ・ 2社程度(応募多数の場合は、選考審査を実施)

【出展者負担】

- ・ 交通費、宿泊費、輸送費、各種保険料
- ※小間料費、ブース基本装飾費、通訳費は仙台市負担

【目標】

- ・ 支援件数:2件



昨年の展示会の様子(Medilab Asia 2024 (開催国:タイ))

食品・工芸品などを対象にした展示会等出展支援

基金

産業振興課

(連絡先:022-2141-1005)

令和6年度当初予算額:10,155千円

事業概要

食料品や工芸品等を取り扱う市内中小企業者等を対象に、台湾等での販路構築支援を行う。

事業の詳細

【対象者】

- ・ 中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号のいずれかに該当する者であって、仙台市内に主たる事業所又は事務所を置くもの
- ・ 本市が定める規約や出展手続、依頼する内容に協力できること
- ・ 市税の滞納がないこと

等

【出展者負担(展示会等出展の場合)】

- ・ 交通費、宿泊費、輸送費、各種保険料
- ※小間料費、ブース基本装飾費、通訳費は仙台市負担

等

【目標】

支援件数: 4件



昨年度のテストマーケティング及び展示会の様子

事業概要

首都圏を中心とした都市型及び研究開発型の企業に対し、本市のビジネス環境をPRするほか、事業所の設置に伴う新たな投資(資産取得、賃借等)に係る固定資産税相当額を助成するとともに、新規雇用の内容に応じた加算助成により、本市への企業立地を促進し、地域経済の活性化や雇用創出を図る。

事業の詳細

首都圏企業等プロモーション他

誘致対象産業の情報収集と本市の立地環境や各種支援策の情報提供のため、首都圏等の企業との面談や本市HP等を活用した情報発信などのプロモーションを実施する。

企業立地PR事業

企業の立地事例や本市の優位性等に関する動画や記事などのコンテンツを作成し、各種メディアを活用して広く発信する。



デジタル広告の一例

企業立地促進助成

令和5年度に交付申請のあった企業に対し助成金を交付する。

- ものづくり産業: 41件、240,300千円
- 都市型産業: 49件、556,940千円

【目標】

令和6年度～8年度の誘致による企業進出数:100件



立地企業の事業所オープニングセレモニー



立地企業による立地表明式

仙台港周辺地区振興支援事業

企業立地課

連絡先:022-214-8245

令和6年度当初予算額:9,413千円

事業概要

官民連携のもとで国際拠点港湾である仙台港の利用促進を図るとともに、仙台港周辺地区の振興のため、蒲生北部地区等における産業集積を促進します。

事業の詳細

仙台国際貿易港整備利用促進協議会等

- 仙台国際貿易港整備利用促進協議会の運営経費の負担及び関係機関団体と共にポートセールス等の官民一体となった枠組みにより、各種事業を実施し、仙台港区のコンテナ取り扱い量の増加を目指す。
- 海の月間(7月)における広報・事業実施に要する経費を支出する。

蒲生北部市有地等利活用促進

- 過年度に選定した候補事業者との契約手続き等を円滑に実施し、当団地への産業集積を図る。
- 高砂コンテナターミナルのサブヤードとなるコンテナシャーシ置場として、コンテナ運送事業者等への貸付を行う。

【蒲生北部地区市有地 航空写真】

平成28年10月時点



令和4年1月時点



事業概要

企業等によるナノテラスの利用を促進し、イノベーションや付加価値創出を図る。

事業の詳細



本市が取得したナノテラスを利用できる権利(2,000時間/年)を、企業等へ配分し、ナノテラスの利活用促進を図る。



ナノテラス上空写真

- 配分内容(1事業者あたりの施設利用時間)
 - 国内の企業…24～48時間/年
 - 本市に研究開発拠点を設置した企業…40～80時間/年
 - 地場の公設試験研究機関による利用

放射光専門家による利活用支援

- 「NanoTerasuシェアリング2000」の利用を希望する企業等に対して、放射光専門家を紹介し、技術的な事前相談を実施する。

ナノテラス測定支援

- 「NanoTerasuシェアリング2000」を利用する企業に対して、測定にかかる経費の一部を補助する。

ナノテラス活用トライアルユース

- ナノテラスの産業利用の有用性を普及啓発するため、中小企業による、ナノテラスを利用した測定事例を創出する。

【目標】

採択件数:10件

事業概要

次世代放射光施設「ナノテラス」を中核として、最先端研究開発拠点や関連企業が集積するリサーチコンプレックスの形成を図る。

事業の詳細

プロモーション業務(市民・企業・学校教育)等

- ナノテラスの利用及び仙台市への立地を目的とした、地場及び全国の企業への訪問
- リサーチコンプレックス形成推進セミナーの実施
本市が進めるリサーチコンプレックス形成への理解促進、ナノテラス利活用及び立地可能性企業の発掘を目的にセミナーを実施。
- 教育分野におけるナノテラス活用事業
次世代を担う高校生等を中心に、早い段階から科学への興味・関心をもってもらうため、授業の一環もしくは課外活動などで、ナノテラスに関するレクチャー及び視察等を実施。

【目標】

企業訪問件数:40~50社

セミナー実施回数:1回



仙台一高での出前事業の様子

研究開発拠点賃料補助

リサーチコンプレックスの一翼を担う短期間集中型の研究開発企業の立地を促進するため、研究開発拠点へ賃料一部を補助する。

- 交付額
 - 対象施設における賃料の1/3 (上限10万円/月、最大3年間)
- 補助対象となる建物は下記の2種類
 - アーバンネット仙台中央ビル
 - 仙台市内にある東北大学の施設

【目標】

採択企業数:

10企業



東北大学サイエンスパーク
提供:東北大学



アーバンネット仙台中央ビル
提供: NTT都市開発株式会社